

セレクト店へ生地PR

テキスタイル福井協 都内で商談会

9社参加



県産材で空間創出

会議室や商談場所

オフィス内仕切り

県、活用促進へ見学会

あまり木材が使用されてこなかったオフィスでの県産材の活用を広げようと、県は本年度から、県産材を仕切りに使って、室内に新たなスペースをつくり出す手法を提案している。23日には県内の導入企業で見学会を開き、県産材の新たな使い方をPRした。

(岩崎大樹)

県は、非住宅分野での県産材利用を促進するため、大手オフィス家具メーカーと連携し、大きな室内空間の中にも一つの空間を設ける「ボックスinボックス」という手法を推進している。壁や柱に県産材を使い、小規模な会議室や商談スペースなどとして活用できる。大掛かりな工事は不要で、ガラスや照明などとの組み合わせ次第で多彩な空間に仕上

られるのが特長という。この日は、昨年11月に開所した日華化学の研究施設「NICCAイノベーションセンター」(福井市)で見学会を開き、県内の建築、設計関係者ら約50人が参加した。同センター1階のオープンフロアに「ボックスinボックス」を用いたミーティングスペースが3カ所設けられているほか、内装やテーブル、展示台に県産材を使っている。参加者は、同社社員の説明を聞きながらフロアを見学。福井市の建築士、薬師誠さん(64)は「新しい発想で参考になった。空間に木材を多用すると雰囲気や和らぐし、よい使

DMO 観光振興柱に

福井経済同友会例会

JTB山下氏が講演



観光振興の課題や日本版DMOの役割について解説するJTBの山下氏。23日、福井市のユアーズホテルフクイ

い方だと思つ」と話していた。見学会には、プロダクトデ

ザイナーの山田敏博さん(45)「若狭町出身」が「木材の新たな活用方法とその可能性について」と題し講演。山田さんが手掛けた建物や製品を紹介した。

福井経済同友会の2月例会は23日、福井市内のホテルで開かれた。JTB日本版DMOサポート室の山下真輝室長が講演し、政府が推進する日本版DMO(観光地域づくり推進法人)の組織の在り方や、観光消費額の増加に向けた戦略の重要性を解説した。

オーダースーツ専門店

ドゥ・カンパニー

TEL(0776) 28-5233
福井市灯明寺1
戸原街道沿
明新文藝となり

単年度予算で継続性もなく限界がある」と指摘。行政依存